

# アダプティブラーニングとは

---

参考サイト：[ReseMom](#)

【読み】アダプティブ ラーニング

【表記】Adaptive Learning、AL、適応学習

【分類】技術／一般常識／その他

【ひとことと言うと】

「個々の生徒にあわせて学習内容を提供すること、その仕組み」

【解説】

「アダプティブラーニング」は、個々の生徒の進捗に合わせ、学習内容や学習レベルを調整し提供しようというものだ。このこと自体は、熟練の教育者であれば、意識的・無意識的に行っていることであり、ごく当たり前だが、現在のアダプティブラーニングでは、ICT技術やソーシャルメディアなどを活用することで、学習内容・学習レベルの最適化を行えるのが特徴となっている。

アダプティブラーニングでは、生徒個々の学習の進捗状況をログとして残し、それを分析・反映することで、学習内容を分岐させ、最適化して提示していく。また同じような個所でつまづいている生徒同士をマッチングし、相互学習やグループ学習により、解決に向かうといったことも可能としている。さらには、楽しんで学べる「ゲーミフィケーション」の考えを採り入れる場合もある。

アダプティブラーニングに注力したeラーニングシステムも複数登場しており、具体的には、「Knewton」「fishtree」「すらら」「RICS」などがある。

## まとめ

学習効果測定を行い各学生に対して、学習内容、学習レベルを調整する。これにAIを使用する形で実現する。

## キーワード

1. 教育データの可視化
2. 一人ひとりに合わせた学習プランを
3. AIロボットがアドバイス
4. ツール(アプリ)として「Knewton」「fishtree」「すらら」「RICS」
5. 授業動画の蓄積を行い、動画+αで授業を行う、できる子とできない子の差を埋める

## リモート授業での活用方法

---

- ・学習効果測定
- ・学習満足度
- ・10分に一回Kahoot(クイズゲーム)などのツールを使用して動くようにする。
- ・ツールを使用すると、学生の態度変容が見受けられる
- ・会議システム、LMS、CMS、
- ・リメディアル教育プログラム→よくわからなかった
- ・

## 授業中に生徒とコミュニケーション

---

- ・**Kahoot**: 使ってみたが、日本語の入力ができるが、基本英語とかポルトガル語など。。。
- ・